

## 発災時における迅速な災害廃棄物処理の取組は

**問** 発災時における災害廃棄物の迅速な処理には、自治会や産業廃棄物業者等との連携が不可欠であると考えますが、本市の取組は。

**答** 市長／災害廃棄物の迅速な収集運搬については、各地域における臨時集積所の早期選定及び開設と、臨時集積所における分別が不可欠なことから、平時から各地区の単位自治会により構成された、沼津市環境衛生自治推進協会との連携・協力体制の構築に努めている。また、災害廃棄物の収集運搬や処理等については、県内自治体との相互援助のほか、民

間事業者と協定を締結している。今後も引き続き、関係機関との連携・協力体制の構築を進めていく。

**問** フリマサイト等を活用し粗大ごみのリユース促進に取り組む考えは。

**答** 生活環境部長／近年、民間事業者によるリユースを仲介するサービスが提供されており、その取組は全国の自治体に広がっている。本市の清掃プラントに搬入される粗大ごみを選別し、リユース可能な資源を販売することで、ごみの減量や循環型社会の実現につながることから、今後実施に向け検討していく。

堤 飛鳥



## マイナンバーカード等を活用した行政手続のDX化の取組は

**問** マイナンバーカード等を利用した行政手続のDX化について、①書かない窓口の取組は。②DX化推進に向けた今後の取組は。

**答** 市民福祉部長／①本市では、マイナンバーカードを利用することで市民課や市民窓口事務所に設置したらしく申請端末や全国のコンビニのマルチコピー機で住民票等が取得できるほか、市民課窓口においては、住民異動や印鑑登録などの手続について、書類を記入することなく申請できる書かない窓口のシステムを導入している。現在、住民異動などの

手続に来たほぼ全ての人に利用されており、書類の記入が困難な高齢者や外国人などから好評を得ている。

**政策推進部長**／②行政手続のDX化を推進することで、業務効率の向上、コストの削減、職員の負担軽減が見込まれ、市民サービスの向上に寄与するものと認識している。また、マイナンバーカードは、個人認証機能やICチップの空き容量を利用した様々な活用方法が考えられることから、今後は先進事例等を参考に、市民の利便性向上につながる活用方法を検討していく。

長田 吉信



## 沼津夜間救急医療センターにおける使途不明金発生要因と対策は

**問** 沼津夜間救急医療センターにおける使途不明金について、①使途不明金が発生した要因と再発防止策は。②今後の対応と責任の所在に対する本市の考えは。

**答** 市民福祉部長／①使途不明金が発生した要因は、沼津夜間救急医療対策協会において診療収入に係る金銭管理を長年同じ職員に担当させ、その業務の流れを他の職員と共有する体制が整っていなかった点にあると考えている。そのため、現在はセンターの事務に関する事務処理マニュアルを作成しチェック体制を強化

するとともに、本市職員との密な連携により入金額にそごが生じないよう対応している。今後も原因究明を進め、対策協会との協議の下、再発防止に努めていく。②今後は、対策協会において、刑事告訴を行い、警察による捜査の進捗状況を考慮し、適切な時期に民事訴訟を提起する予定であると聞いている。また、本件に係る最終的な責任については、警察の捜査状況や法的な整理を参考に、対策協会の会員の意見を踏まえ、対策協会の理事会で判断していくものと考えている。

植松 恭一



## 不登校児童生徒への本市の対応は

**問** 不登校傾向の表れに対する初動対応は。

**答** 教育長／欠席当日の電話連絡のほか、欠席が続く場合には家庭訪問の実施や、管理職・担任・養護教諭等で情報共有し欠席の要因や保護者の要望に沿った支援方法を検討するケース会議を実施している。また、保護者に対しては困り感を傾聴し、関係機関の窓口を案内するなど、悩みを一人で抱え込まないよう寄り添った対応に努めている。

**問** 別室登校の児童生徒への対応は。

**答** 教育長／本市では、様々な事情

によりクラスに入ることができない児童生徒のために、保健室や相談室等で自らの進度に合わせた学習や学校生活を送ることができるようサポートを行っている。小学校においては保健室等を活用し、養護教諭等が見守る中で教室や日常生活では把握しにくい状況を早期に発見し、児童が安心した学校生活を送るための支援につなげている。中学校においては全校に相談室を設置し、児童生徒支援員を配置するなど、生徒の心のケアのみならず、学習支援を行うことができる体制を整えている。

浅田 美重子

